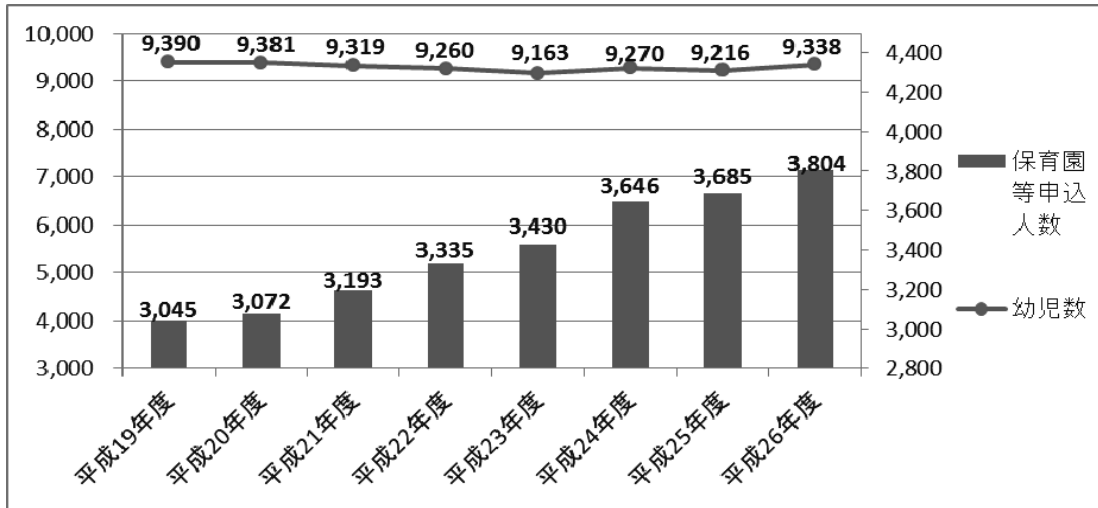


日野市の保育園に対する取り組み状況について

1. 保育園の申込状況

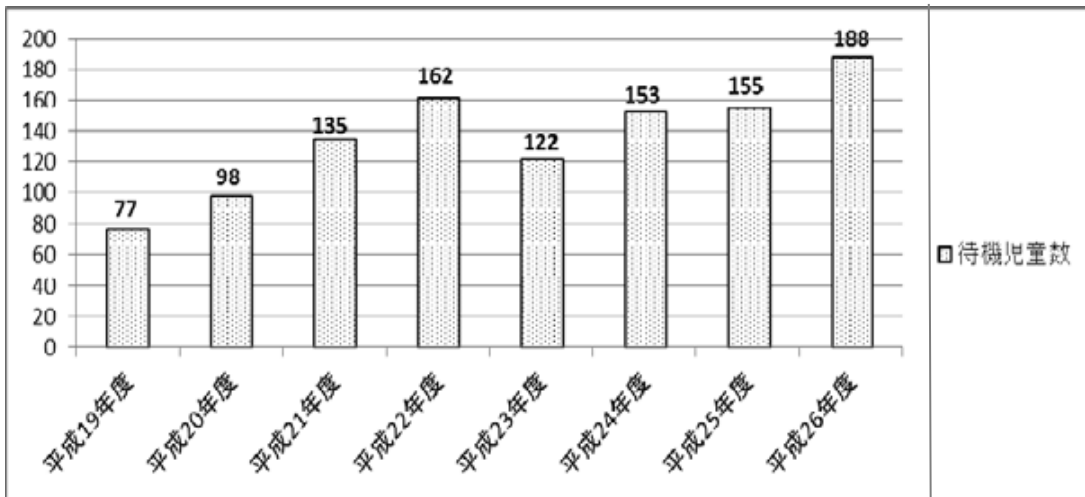
乳幼児数がほぼ横ばいに対し、出現率(保育園などに申込み人数)は上昇している。



「新！ひのっ子すくすくプラン」より

2. 待機児童の状況

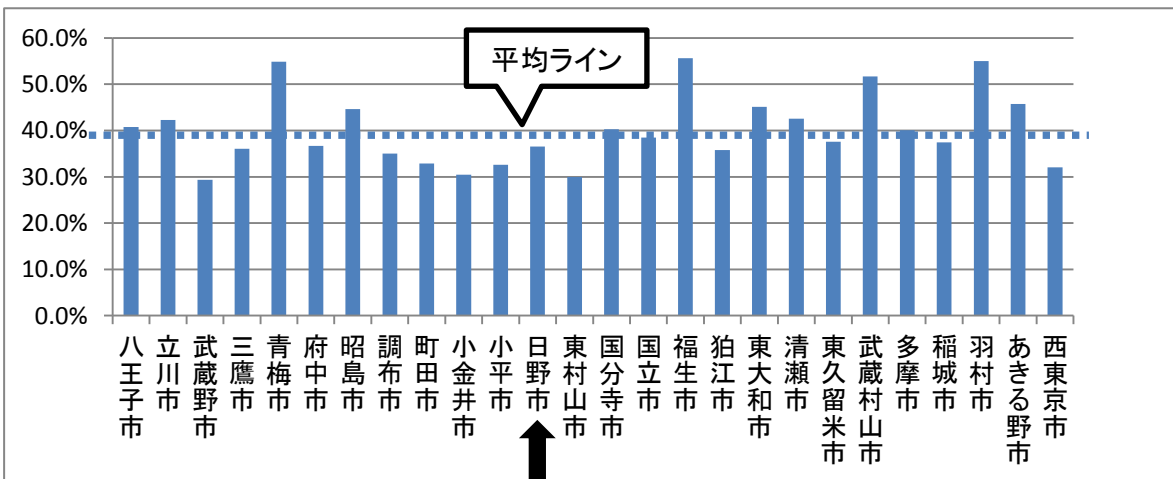
平成19年度から平成26年度まで、認可保育所・認証保育所・認定こども園の定員を655人拡大したが、待機児童数は減少していない。



「新！ひのっ子すくすくプラン」より

3. 保育園整備率の他市状況

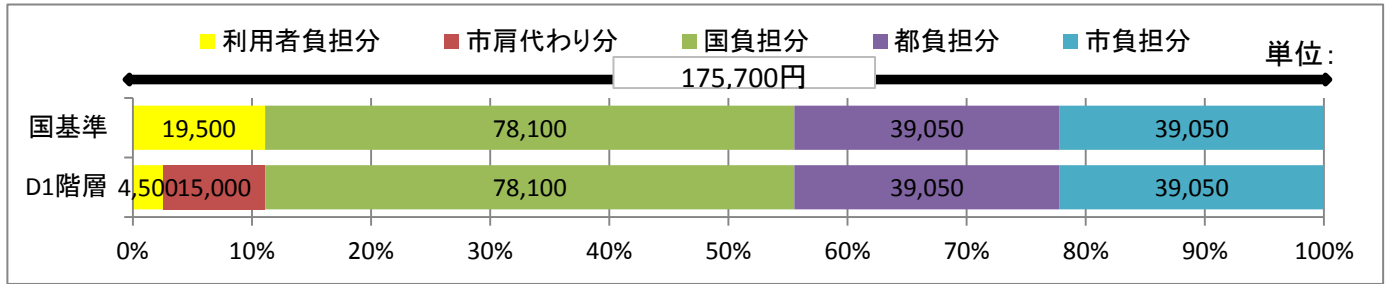
就学前児童人口に対しての保育サービス(認可・認証・家庭的保育・小規模・その他単独施策等)の整備状況。26市平均は40%。日野市は36.6%となっており、今後も整備を進める必要がある。



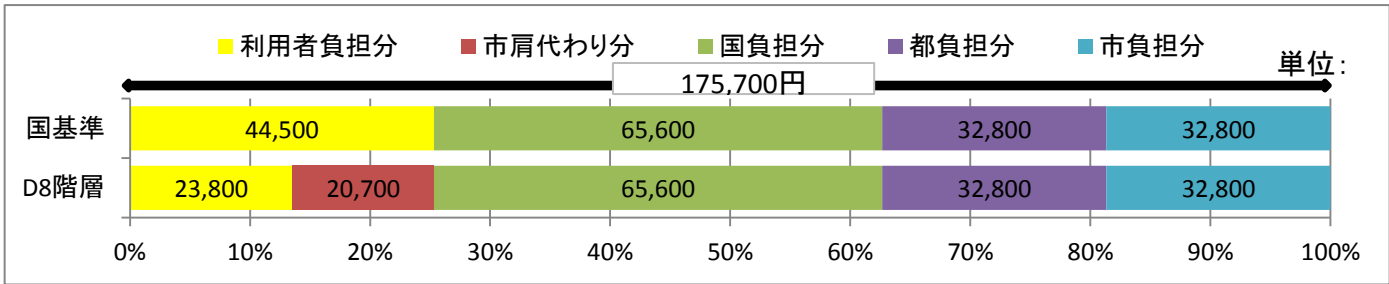
4. 利用者負担割合の状況

0歳児の、1人当たりの国基準保育単価に対する利用者負担割合
(16/100地域、定員100人、処遇改善加算等を除く単価で試算)

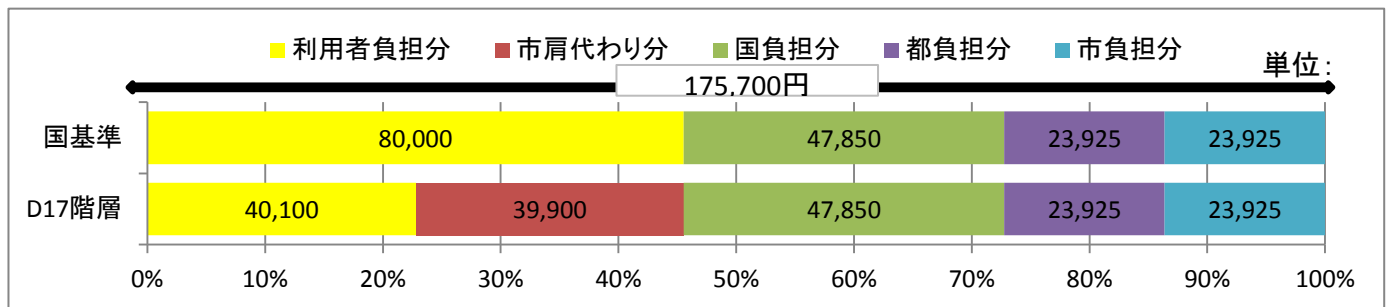
OD1階層(年収300万円世帯)



OD8階層(年収600万円世帯)



OD17階層(年収1,000万円世帯)



5. 認可外(認証保育所)利用者との負担割合比較

認証保育所の利用者は、認可保育所の利用者より負担額が大きい傾向にある。

【1月当たりの利用者負担額】

		(円)	
		0歳	3歳
認可 保育所	D1階層	4,500	3,800
	D8階層	23,800	14,400
	D17階層	40,100	22,200
認証保育所		50,000	42,000
(参考)私立幼稚園		-	21,200

※月220時間利用の市内認証平均保育料、市補助18,000円で試算
※D8階層と同等所得で試算

6. 保育単価の上昇

平成22年度から5年間で、116.8%上昇している。(保育士処遇改善・3歳児配置加算など)

【年齢区分別 保育単価】

		(円)		
		22年度	27年度	上昇率
0歳児単価		162,080	175,700	108.4%
1・2歳児単価		94,610	104,270	110.2%
3歳児単価		44,300	58,250	131.5%
4歳以上児単価		37,560	43,970	117.1%